

令和7年度（2025年度）「学校安全総合支援事業」に係る

天草拓心高校本渡校舎・天草支援学校高等部合同公開避難訓練実施要項

1 目的

地震発生における安全行動を身に付け、放送や教職員の指示の情報を正しく理解する自助の強化を図る。また、地震発生時における火災発生リスクがあることを理解し、避難における防火シャッター・扉を把握し、非常口を使用するスキルを身に付ける。その際、他人を思いやる共助の心も養う。

2 日程 令和7年（2025年）10月28日（火）

授業（授業担当者）	視察（公開避難訓練）	会場：視聴覚室	訓練・備考
③限目 10:50～11:40	受付 10:15～10:45 説明 10:45～10:50 視察 10:50～11:40		
地震発生 11:10 安全行動	・防火シャッターや防火扉を閉める		地震発生 11:10
余震発生 11:13 安全行動	・各教室にて安全行動		数回余震発生
余震発生 11:16 安全行動			
火災発生 11:20			火災発生 11:20
避難開始 11:22 避難誘導	・火災発生現場		火災確認、初期消火、
指導講評 11:35	・非常口利用状況、事務室内		通報、放送指示
訓練終了 11:40			
トイレ休憩（10分）	・煙体験設備設置		
④限目 11:50～12:40			
煙体験・事後アンケート	煙体験 11:50～11:55		煙体験 体育館横テ
11:50～12:10	活動発表 12:00～12:10（SBP部、3L課研）		ント
授業 12:10～12:40	合評会・閉会 12:10～12:45		

3 訓練火災出火元

天草支援学校窯業室（晴天・雨天時）

4 実践的避難訓練「R7 学校安全総合支援事業（防災）」

① 教室棟1階～4階の防火シャッター封鎖、職員室横防火シャッター封鎖、防火扉封鎖

有限会社かなざわ（消防設備点検）協力

② 煙体験 天草広域連合中央消防署協力

## 5 参加者

生徒 304名 教職員 70名 (天草拓心高校 本渡校舎)

生徒 51名 教職員 31名 (天草支援学校 高等部) 総計 456名

## 6 避難場所 (天候により変更になる為、避難放送の指示に従う)

晴天時：グラウンド (天草拓心高校本渡校舎、天草支援学校高等部)

雨天時：体育館 (天草拓心高校本渡校舎、天草支援学校高等部)

## 7 係分担

係	担当	内容
訓練火災発見者	天草支援 学校	訓練火災を発見し、警報器を押す。その後、近くの教職員へ呼びかけ、消火器による初期消火。
訓練火災確認	天草支援 学校	インターホーンまたは携帯、消火器を持って訓練火災現場を確認、事務室へ報告。その後、初期消火にあたり、消火の成功・失敗を報告。
初期消火班	天草支援 学校	できるだけ多くの消火器を持って訓練火災現場で初期消火にあたる。
校長・教頭への報告	主任事務 長	
農場・果樹園への連絡	〇〇	※農場・果樹園に生徒がいないか確認
校内放送による避難指示	〇〇	「・・・にて訓練火災発生、生徒・教職員はグラウンドへ避難して下さい。」
門の開放、緊急車両誘導 ・正門	〇〇 〇〇	門を全開にし、緊急車両の誘導を行う。

避難誘導、残留生徒確認		生徒の避難誘導を行い、各階の教室やトイレに残留生徒がいないか確認を行う。その後、グラウンドへ避難。
・教室棟 4階	( )	
"    3階	( )	
"    2階	( )	※教室棟の担当者は、教頭もしくは教務主任が
"    1階	( )	職員室に在室している教職員に指示。
・管理棟 2階		
・    "    1階 (図書館前)	〇〇	
・実験棟	〇〇	
・家庭科棟	〇〇	
・体育館・プール	〇〇	
・農場	〇〇	
・果樹園	〇〇	※事務室からの連絡を受け、果樹園に生徒がいる場合は、点呼を行い報告。 本部から指示があるまでは果樹園で待機。
業者等対応	〇〇	有限会社かなざわ、天草広域連合中央消防署
記録	〇〇	写真記録

( )は訓練時に教頭もしくは教務主任により職員へ指示。  
〇〇は事前に担職員を配置。

## 8 訓練開始～避難について

- (1) 授業担当者は、緊急地震速報による地震発生において、生徒の身を守る安全行動をとらせる指示をし、自分も安全行動をとる。【学校は最大震度7では壊れない耐震性のある構造物であること伝える。しかし、非構造物(電気や机、窓ガラス、棚等は危険であることも伝える)】
- (2) 授業担当者は火災報知器の作動により生徒のすべての行動を止め、指示を待つ。
- (3) 放送の指示に従い、避難を行う。
  - ア 授業担当者は、出欠簿を持って生徒を避難場所へ誘導する。
  - イ 窓ガラスや棚の周辺は地震による破損があるため、避けながらゆっくり避難させる。

ウ 一酸化炭素中毒防止のため、ハンカチや袖で鼻と口を押さえる。

エ 避難経路は、授業担当者が安全かつ迅速に避難できる経路を考え指示する。

**【防火シャッター・扉は封鎖しているが、必ず非常口があることを理解させる】**

## 9 避難後の整列と避難状況報告について

(1) グラウンド（体育館）へ避難を完了したクラスから図のように名簿順2列で並び、座る。

～家庭科棟・生徒昇降口側（体育館ステージ側）～

職員	【本部】	救護所
天草支援学校	天草拓心高校	
高等部生徒	本渡校舎生徒	
3U 3C 3A 3F 3L	2U 2C 2A 2F 2L	1U 1C 1A 1F 1L

(2) 生徒の避難状況の報告について

ア 授業担当者は点呼を行い、学年主任へ報告を行う。

例 「3U 在席〇〇名、欠席・早退〇名、現在〇〇名で異常なし」

「3U 在席〇〇名、欠席・早退〇名、現在〇〇名で△△△△が行方不明」

イ 学年主任は教頭へ報告を行う。

(3) 教職員の避難状況の報告について

教科主任は職員の点呼を行い、教頭へ報告を行う。

例 「職員〇〇名で異常なし」 「△△が緊急車両誘導中、〇〇名異常なし」

## 10 その他

**事前お知らせによる訓練ですが、訓練火災発生後に行動されるようお願い致します。**

→校内放送の指示後に避難開始